

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

最初の大きな揺れは約1分間

- 身の安全を確保する



揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦の落下・ブロック塀の倒壊・自動販売機等の転倒に注意

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に声をかけよう

- 要配慮者の安全確保 隣近所で助け合う
- 行方不明者はいないかの確認 ●ケガ人はいないか

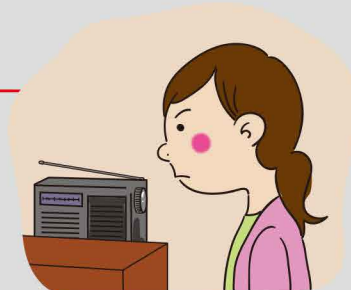


出火防止 初期消火

- 消火器を使う ●余震に注意
- 漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーをおろす・ガスの元栓を閉める

ラジオなどで正しい情報を

- 防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように ●避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食糧は蓄えているものでまかなう 最低限3日間(推奨7日間)の飲料水と食糧の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集 ●壊れた家に入らない
- 近くの人の救出・救護



1~2分

3分

5分

10分

数時間

3日

震度階級

5強

- 物につかまらなると歩くことが難しくなる。
- 棚にある食器類や書棚の本の多くが落ちる。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。
- 自動車の運転が困難となり、停止する車もある。



6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
- ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。



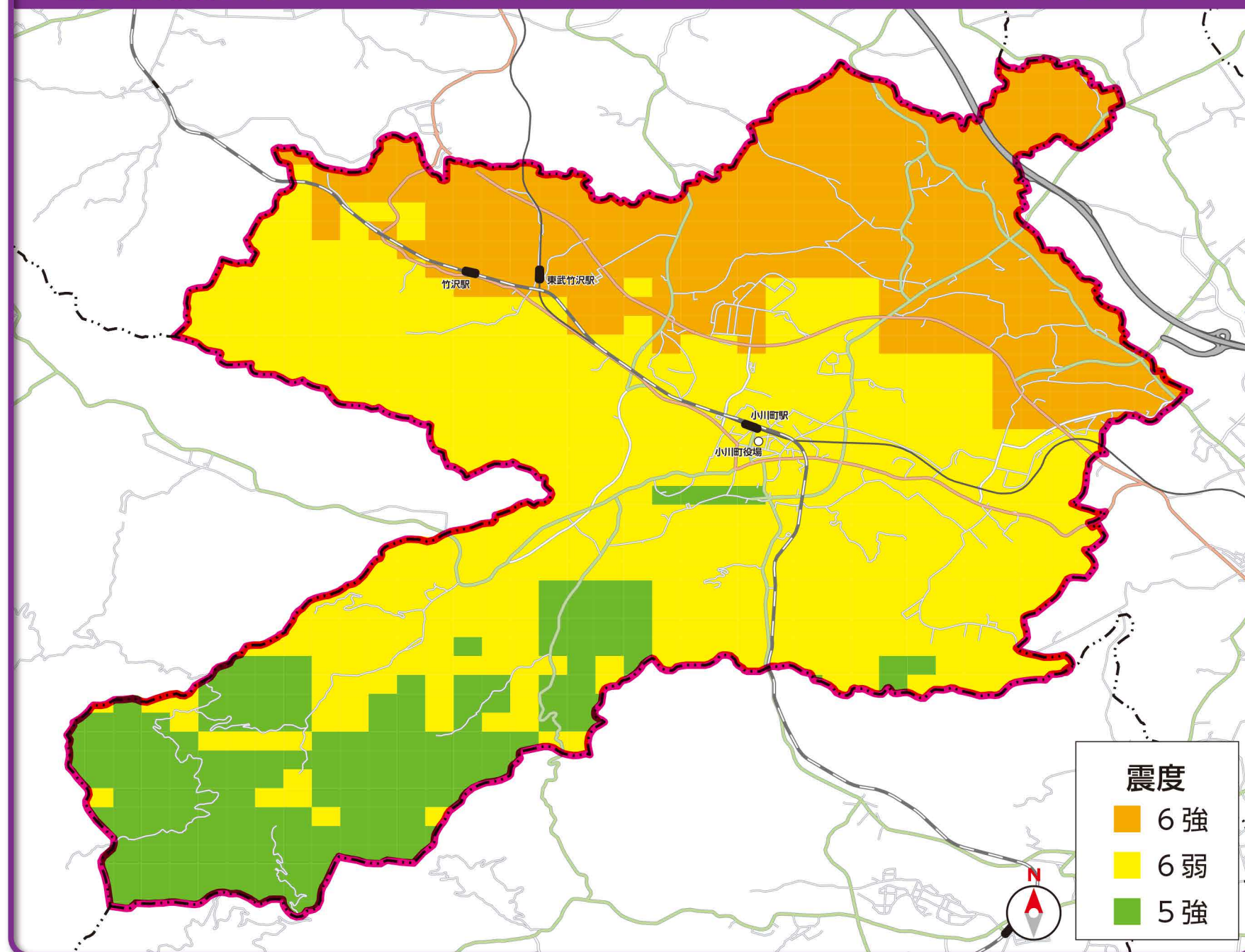
6強

- 立ってられず、はわないと動けない。
- 揺れにほんろうされ、飛ばされることもある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。
- 補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。



地表震度分布図

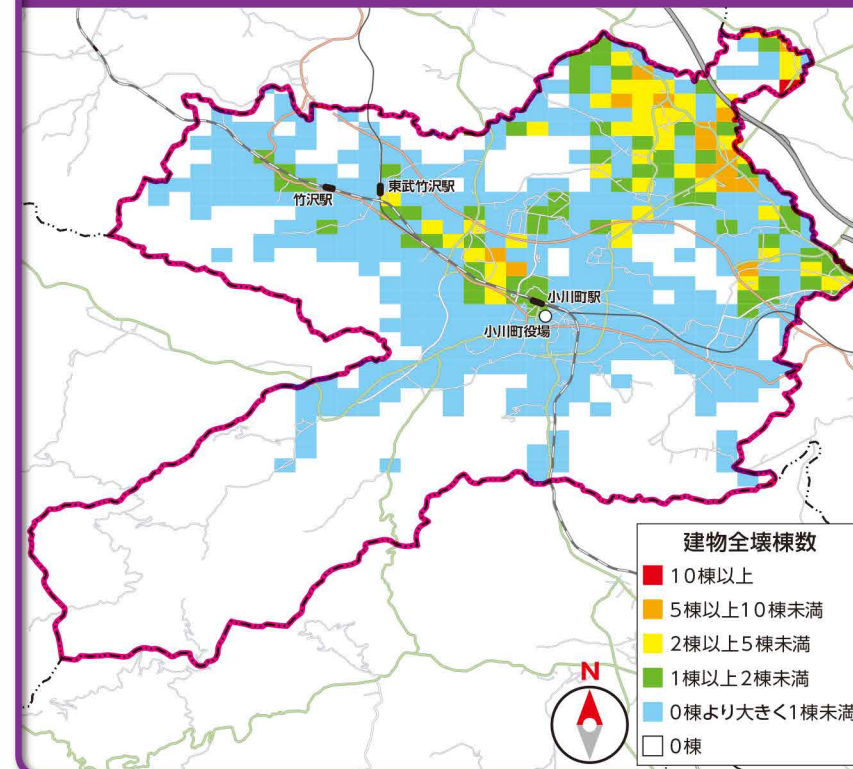
この地図は、埼玉県が行った地震被害想定調査において、小川町の被害が最も大きくなる関東平野北西縁断層帯地震が発生した場合の震度分布を250mメッシュで表示したものです。



震度
6強
6弱
5強

建物全壊棟数分布図

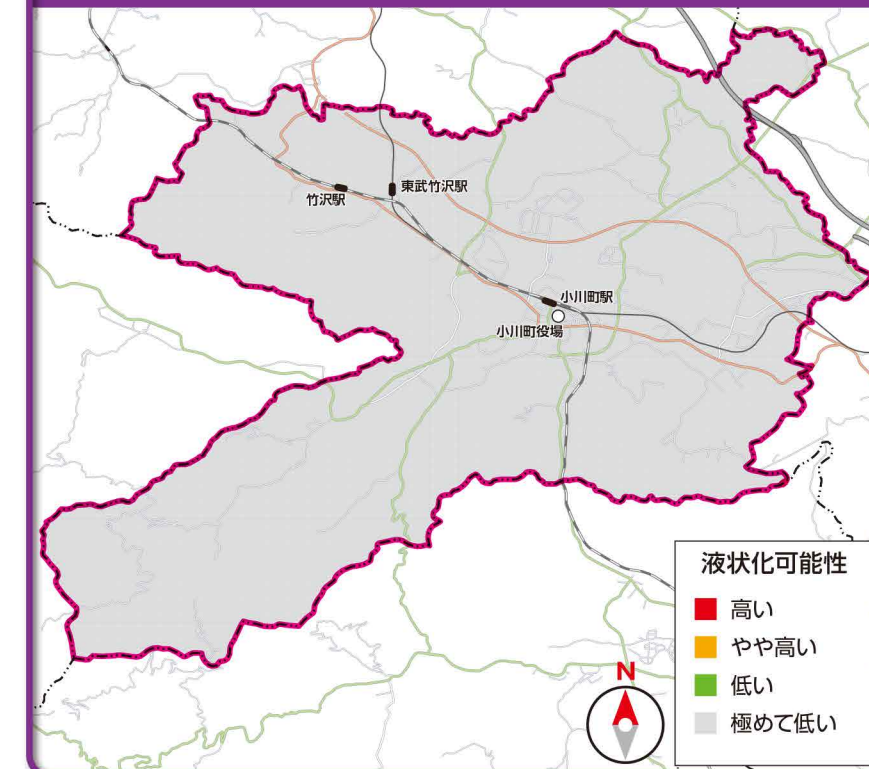
この地図は、埼玉県が地表震度分布図の震度分布をもとに、構造別・建築年次別の建物データから倒壊被害の危険度を予測し、250mメッシュで表示したものです。昭和56年5月31日以前の建物の割合が多い区域は、危険度が高く表示されます。



建物全壊棟数
10棟以上
5棟以上10棟未満
2棟以上5棟未満
1棟以上2棟未満
0棟より大きく1棟未満
0棟

液状化可能性分布図

この地図は、埼玉県が地形データ、地質データ、地下水位データ、想定される地表震度等をもとに液状化可能性を判定し、250mメッシュで表示したものです。



液状化可能性
高い
やや高い
低い
極めて低い